

夜間巡回パトロール(7月21日、8月18日)



左写真:夜間パトロールでゴミを拾う越智南関東東局長(写真中央)



右写真:パトロールする堀内管理部長ほか



パトロール終了後、感想を発表する越智次長



出発前巡洋艦フィッツジェラルド乗組員への黙とう



パトロール後に挨拶するフェントン司令官

7月21日、神奈川県横須賀市の繁華街において、地元町内会、神奈川県、横須賀市、米海軍横須賀基地、ガーディアン・エンジェルス(各地でパトロールを実施するNPO)、横須賀警察署、海上自衛隊横須賀地方隊及び南関東防衛局が参加して、夜間巡回パトロールが実施され、米海軍からは在日米海軍司令部のグレゴリー J. フェントン司令官、横須賀基地司令部のジェフリー・キム司令官夫妻、南関東防衛局から越智次長ほか参加しました。この日、パトロール開始前に上田町内会連合会長の呼びかけで、これまでもこのパトロールに参加してくれていた米海軍巡洋艦フィッツジェラルドの乗組員達を偲び、6月の事故により亡くなられた7名の乗組員に対し、参加者全員で1分間の黙とうを捧げた後、パトロールに出発しました。

この夜間巡回パトロールの参加が最後となる南関東防衛局越智次長は、パトロール終了後、参加者を前に、こういった地元が支える日米の取組みに参加出来たことへの感謝と当日参加していた局の若い職員達にこれからも引き継いで欲しいことを述べ、最後の挨拶としました。

8月18日、南関東防衛局は初めて参加する見村総務部長ほか、米海軍横須賀基地に近いドブ板通り、京急汐入駅周辺、街中の公園、京急横須賀中央駅周辺等をパトロールしました。この日のパトロール後、前回で第250回となった同パトロールを記念したバッジが参加者に配られ、このバッジを付けた日米参加者は街で会っても挨拶や握手をしようと町内会長から呼びかけました。

地元町内会が主体となって、米軍や行政機関等も参加する草の根の活動は継続的に実施することが重要です。南関東防衛局としては、今後とも積極的にこの取り組みに参加していきます。



右から南関東防衛局見村総務部長、キム司令官、関場管理部長ほか



第250回目を記念したバッジ



パトロールで交流する米海軍人と南関東防衛局職員